

「ブルーカーボン・オフセット制度」って何!?

作:福岡市港湾空港局

②

いやなげえ!!
そしてムズい!!

かきヒーン

福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度っていうのはね、つまり博多湾の藻場による二酸化炭素の吸収量をクレジット化してそのクレジットを購入してもらうことで博多湾の環境保全創造の取組みをさらに推進していく、という制度なんです。そもそもブルーカーボンって何?って思っちゃうよね。ブルーカーボンっていうのは、アマモや海藻、植物プランクトンなどの海の生物が光合成で二酸化炭素として吸収した炭素のうち、分解されずに海中に長期間貯留される炭素のことを言います。陸域の森林等が吸収する炭素(グリーンカーボン)と同様に、気候変動対策として世界的に注目されています。陸域での炭素の吸収量は19億トンであるのに対して、海域での吸収量は25億トンとされています。アマモがそもそもわからないかな?アマモっていうのは、地下茎や種子で増える海の中の植物「海草」なのね。アマモ場は「海のゆりかご」と呼ばれていて、魚のすみかや産卵場所として海域の生物多様性の創出において重要なだけでなく、近年は二酸化炭素の吸収・固定に寄与するブルーカーボン生態系としても注目されているんです。ブルーカーボン生態系には、①海藻の藻場(アマモ場など)、②海藻の藻場(コンブ場など)、③湿地・干潟、④マングローブ林などがあります。それぞれの生態系で炭素貯留のメカニズムが異なるんだけど、日本には海に囲まれている島国だから、「ブルーカーボンの宝庫」と言えるのよ。進行している地球温暖化の影響は、海の植物にも及んでいるので、豊かな海を守る活動がとても重要で

①

「福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度」とはいかなるものなのか!?
かおりさんに聞いてみましょう!

みなと環境政策課 かおりさん

あきとくん

今話題の…

そして、博多湾のアマモ場が貯めた「ブルーカーボン」を「博多湾ブルーカーボン・クレジット」として販売して…

① 販売

② 購入

生活する上でどうしても出てしまうCO₂の分を購入することで…

③ 支援

博多湾のアマモ場づくりを応援しよう!という制度のことよ

なるほど!

じゃあまず、アマモって知ってる?アマモは浅い海に生えている植物なの。アマモがCO₂を吸収して貯めこんだ炭素のことを「ブルーカーボン」って呼んでいて、地球温暖化防止対策として役立っているのよ

あ

か

K名誉教授考案「博多湾式苗移植法」

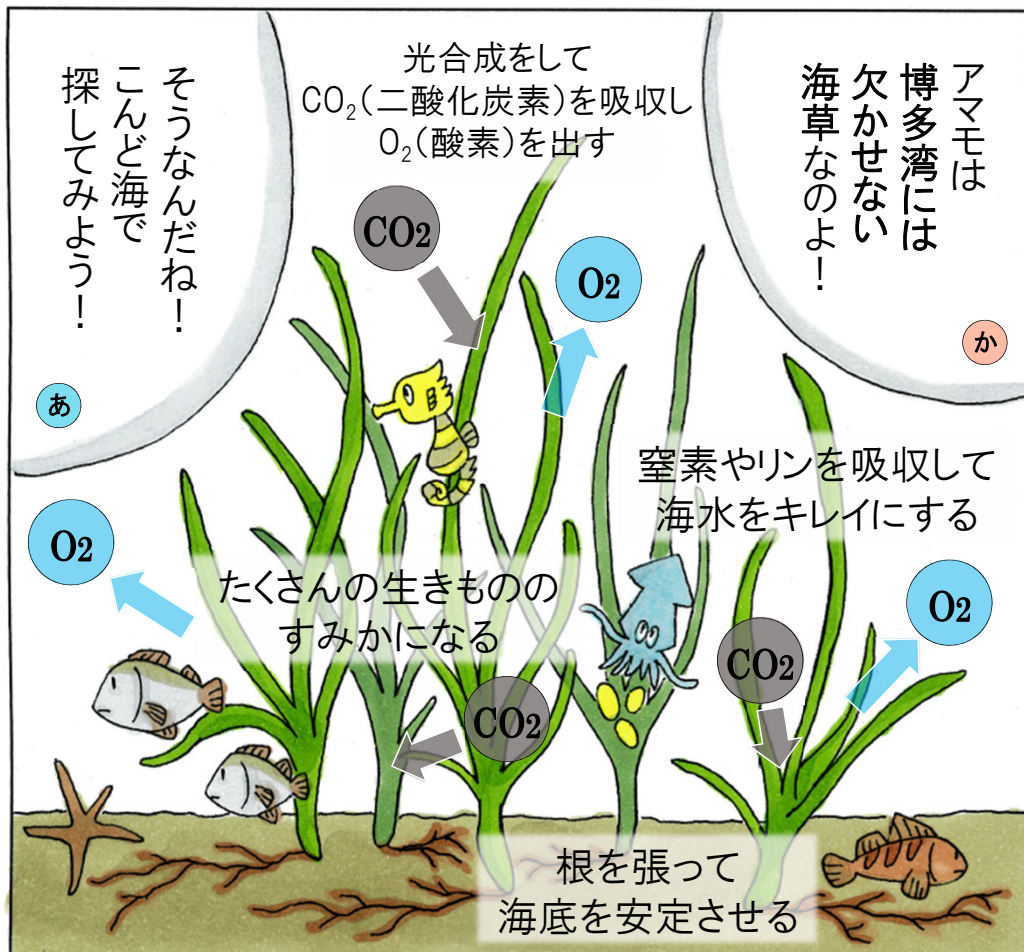
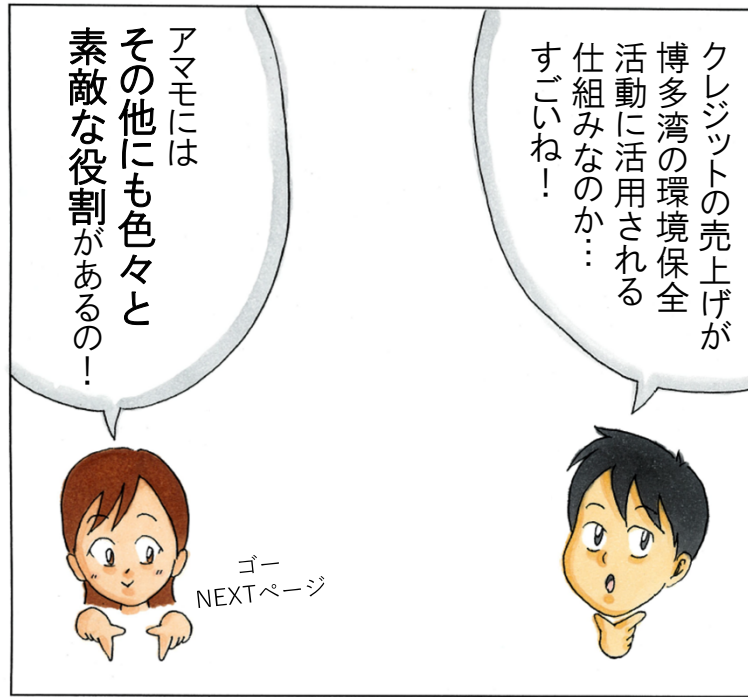
竹割りばし

④

※ブルーカーボン…(アマモに限らず)海の植物が光合成でCO₂として吸収した炭素のうち、海域で貯留された炭素のこと

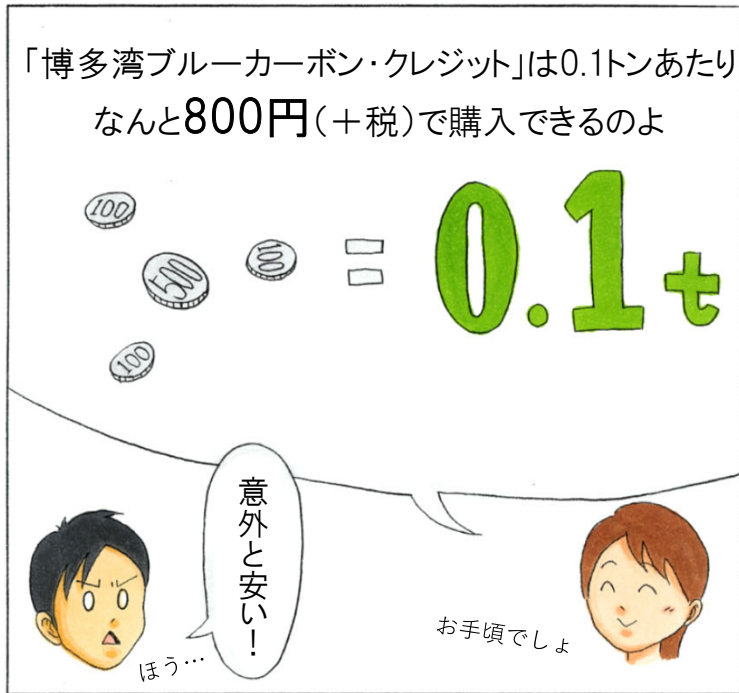
③

⑤



⑥

⑧

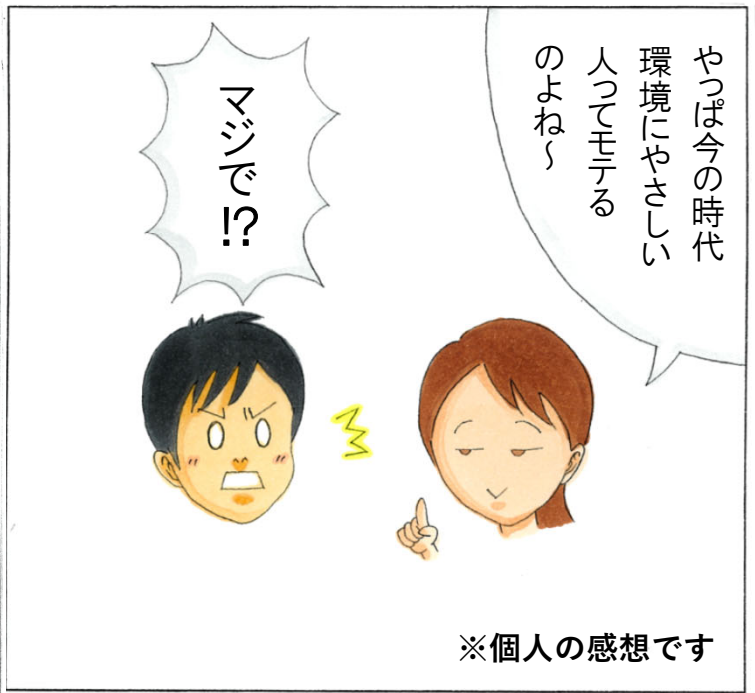
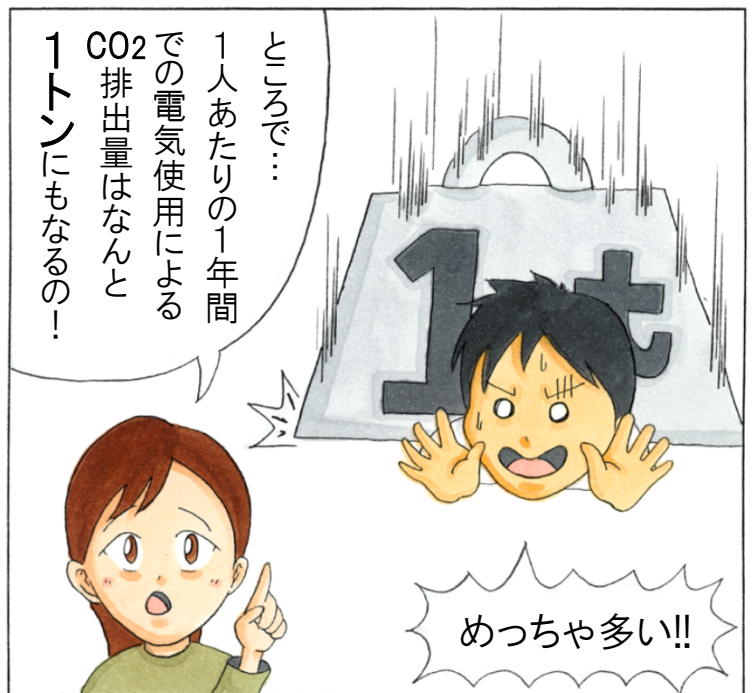


⑩



←「福岡市博多湾ブルーカーボン・オフセット制度」についてもっと詳しく知りたい方はコチラ！

⑦



⑨



←ブルーカーボンに関する
福岡市の取組みはコチラ！